

令和4年度

第1回 学校運営委員会

令和4年5月19日（木）

1. 令和4年度大麻小学校【学校運営委員】の委嘱 <敬称略>

氏名	住所	電話番号	備考
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	

2. 江別市学校運営委員会に関する規則について（別紙）

3. 委員長・副委員長の選出 <敬称略>

委員長	
副委員長	

4. 令和4年度教育目標と学校経営方針について（別紙）

- ・今年度の重点を中心に

5. 学校支援について（別紙）

- ・これまでの活動と今後の見通し

6. 学校評価について（別紙）

- ・今年度の取り組み

7. 今後の予定 ※情勢によっては、変更もあり得ます。

- ・第2回学校運営委員会

期日 令和4年10月20日（木）

*授業参観（13:30～14:00）

*会議（14:00～15:00）

（1）授業参観と感想

（2）学校運営の中間評価と意見

- ・第3回学校運営委員会

期日 令和5年1月16日（月） 18:00

*学校関係者評価

学校教育目標

1. 学校教育目標

《総括目標》

よく考え**実行力に富む** 大麻の子ども

《設定理念》

- ① 大麻の110年の歴史と伝統を築き上げた「先人の不屈の魂—開墾開拓の精神—」を受け継ぎ、先人の英知、努力に感謝し、平和を願い、真理を探究し、民主的で、しかも豊かな社会を創造していくことができる子どもを創造したい。
- ② 新しい世紀を創造的に拓く人間教育の観点から、たくましく生きるための健康と体力、そして、豊かな人間性を持ち、自ら考え、主体的に判断し行動し課題を解決する資質と能力をもった子どもを育成したい。(制定 昭和55年4月)

《具体目標》 見直し・改定 平成14年3月

- ・ よく考え 学習する子 (知)
(創造力が豊かで意欲的に学習する子)
 - ①話をしっかり聞く子
 - ②**自分の考えを発表する子**
 - ③**めあてを持って学習する子**
 - ④なかよく学習する子
- ・ くじけず やりぬく子 (徳)
(強い意志をもち、実行力に富む子)
 - ①自分のことは自分でやる子
 - ②約束・きまりを守る子
 - ③**めあてに向かってがんばる子**
 - ④他と協力する子
- ・ 明るく げんきな子 (体)
(健康の増進につとめ、明朗快活な子)
 - ①元気よく遊ぶ子
 - ②**元気に挨拶する子**
 - ③健康と安全に気をつける子
 - ④進んで運動する子
- ・ はげましあい 助け合う子 (意)
(連帯感を深め、自己と集団を大切にする子)
 - ① **思いやりがありやさしい子**
 - ②物を大事にする子
 - ③ 自然や生き物を大切にする子
 - ④美しいものに感動する子

2. 教育目標具現化の具体目標

	具体目標	低 学 年	中 学 年	高 学 年
よく考え学習する子	<ul style="list-style-type: none"> ①話をしっかり聞く子 ②自分の考えを発表する子 ③めあてを持って学習する子 ④なかよく学習する子 	<ul style="list-style-type: none"> ①大事なことを聞き逃さないように、先生や友達の話の話を聞くことができる。 ②自分の考えたことを事柄の順序に気を付けて話すことができる。 ③学習のめあてを持ち、楽しく学習することができる。 ④みんなとなかよく話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①話の中心に気を付けて先生や友達の意見を聞くことができる。 ②自分の考えたことを、筋道を立てて話すことができる。 ③学習の計画を立て、粘り強く学習することができる。 ④グループ学習等で、進捗に沿って話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手の意図をつかみながら話を聞くことができる。 ②自分の考えたことを、要点を押さえて的確に話すことができる。 ③学習のねらいや方法を明らかにして、学習を進めることができる。 ④力を合わせて、高め合い、話し合うことができる。
くじけずやりぬく子	<ul style="list-style-type: none"> ①自分のことは自分でやる子 ②約束・きまりを守る子 ③めあてに向かってがんばる子 ④他と協力する子 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の身の回りのことや係の仕事などをがんばることができる。 ②学校や学級のきまりがわかり、しっかり守ることができる。 ③めあてを決め、最後までやり遂げることができる。 ④みんなのためになることを進んですることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の仕事や学習を最後までやり遂げることができる。 ②学習のきまりや生活のめあてを理解し、進んで守ることができる。 ③自分で計画を立て、実行し、反省し、改善することができる。 ④学校や学級における自分の役割を考え、責任を果たすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の仕事や学習を進んで最後までやり遂げることができる。 ②上級生としての自覚を持ち進んで生活のめあてを守ることができる。 ③勤労や奉仕の意義を考え困難に負けず仕事をやり抜くことができる。 ④学校や学級における自分の役割を最後まで果たすことができる。
明るく元気な子	<ul style="list-style-type: none"> ①元気よく遊ぶ子 ②元気に挨拶する子 ③健康と安全に気を付ける子 ④進んで運動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ①友達といつも元気に遊ぶことができる。 ②明るく元気な挨拶ができる。 ③交通のきまり等をしっかり守ることができる。 ④身体を強くするために元気に運動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手を思いやり、誰とでも仲良く遊ぶことができる。 ②明るく元気に、進んで挨拶ができる。 ③身の回りの衛生に注意すると共に回りの状況を考え安全に行動できる。 ④体力向上のために、自ら進んで運動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手の立場を考え、協力し合って、なかよく遊ぶことができる。 ②時と場に応じた適切な言葉遣いや挨拶ができる。 ③公衆衛生に気を付けると共に自ら危険を予知し回避することができる。 ④体力向上のために、計画的に運動に取り組むことができる。
はげましあい助け合う子	<ul style="list-style-type: none"> ①思いやりがありやさしい子 ②物を大事にする子 ③自然や生き物を大切にしている子 ④美しいものに感動する子 	<ul style="list-style-type: none"> ①みんなに親切にして、楽しく生活することができる。 ②みんなでするものを大切にすることができる。 ③動植物の世話を進んですることができる。 ④友達の良い点に気づくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①友達と仲良くし、励まし合うことができる。 ②みんなでするものを大切にすると共に、進んで整理することができる。 ③優しい心で生き物の飼育や栽培を進んでできる。 ④友達の良い点を称えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①小さなことにも心を配り、誰に対しても親切にすることができる。 ②公共物への意識を高め大切に扱うと共に整理整頓を行うことができる。 ③自然物を大切にしたいわゆる心を持つことができる。 ④感動したことを素直に表現することができる。

学校経営方針

1. 令和4年度 大麻小学校経営方針

(1) 社会的背景・教育動向

急速な少子高齢化の進行やグローバル化の進展、A I（人工知能）の飛躍的な進展などにより、社会生活や産業活動が加速度的に変化し、科学技術イノベーションが先導していく予測できない未来（超スマート社会(Society5.0)）の到来が予想されている。また、地域社会の希薄化など支えあいの社会構造が衰退、地域によっては教育力が低下し、学校が抱える課題も複雑化・多様化してきている。

これを解決するために社会の変化に受け身に対処するだけではなく、主体的に向き合って関わり、その過程を通して一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが重要である。そのためには、学校教育において「何を学ぶか」にとどまらず、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見据えた学習指導の改善が求められている。また、今一度、社会総がかりで子どもたちを育む体制の実現が急務であり、「開かれた学校」から一步進め、「地域とともにある学校」「社会に開かれた教育課程」を実践していくことが求められている。「第3期教育振興基本計画」において2030年以降の社会の展望をふまえた個人と社会の目指すべき姿と教育の役割として、

①個人としては、「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくこと」

②社会においては、「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」

が求められている。これに加えて近年は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、まさに、答えのない問題に立ち向かい主体的に考えられる人間が必要とされている。

(2) 児童の様子

素直な子どもが多く、指示されたことは何事にもやる気をもって取り組んでおり、これまでの指導の成果が子どもたちの力となり、目に見える形で表れている。また、学年の枠を超えた交流を通して人間関係づくりや積極性、リーダー性を培うことをねらいとした縦割り活動は、コロナ感染対策の影響を受けてはいるが、日常的に上級生が下級生の面倒をみる大麻小学校のよき伝統であり、受け継がれる精神は成果として子どもたちが成長する姿から見取ることができる。

しかし、一方で主体的に行動を起こすことが苦手な子どもたち、また特別な配慮・支援を要する子どもたちも多く、また複雑化、多様化する課題に対する対応、保護者への説明責任もまた難しくなっている。個々の児童の良さや可能性の伸長、より良い友達関係の構築、支持的風土の上にある所属感、自己肯定感の保持を念頭に、今後さらに子どもたちが困難な時代を生き抜く、実効性ある教育活動を展開していく必要がある。本校は客観的に見ると、学力面においては、全国学力・学習状況調査結果によると、国語・算数科ともに、ほぼ目標を達成し、日常の授業改善により、さらに子どもたちの学力は向上している。しかし、N R T等の各調査結果からは、十分に学力が身に付いていない子どもや、集団としての高まりが十分ではない課題も見られる。

体力テストの結果は、男子は「長座体前屈」以外、女子は「握力」「ソフトボール投げ」等、男女とも全国平均を上回る種目が多い状態である。その中で男子「長座体前屈」、女子「20mシャトルラン」、「50m走」の数値が低く、柔軟性、持久力、走力が課題である。体力向上に向けた日常的取組と体づくり運動を取り入れた体育指導の工夫（走力の向上）・『準備運動⇒主運動』につながる一単位時間の授業の流れの工夫や準備運動へのストレッチの位置付けなど、授業の工夫・改善が必要である。

いじめの定義が変わったことによる、いじめの認知件数「嫌の思いをした」が多くなったが、先生方の

日々の指導により大きな問題に発展することなく、調査で認知されたいじめについては解消されている。一方で、不登校児童や欠席が多い児童が近年増加傾向にあり、学校として、校内フリースクール的な対策を講じて進めているところではあるが、今後も重大な案件であると認識している。

さらに、通常学級における特別な支援を要する子どもへの対応については、昨年度も特別支援教育支援委員会・生徒指導交流により、担任を孤立させない、校内全体で支えていく動きが継続されている。今後も、さらに支援と対策を充実させていかなければならない。

(3) 保護者の様子

保護者は教育的意識が高く、教育活動に対する理解があり、大変協力的である。しかし、近年、社会情勢、働き方の変容とともに、PTAの役員を希望する人材が不足し、活動の軽減、精査を求める声も聞こえ始めている。

令和3年度の学校評価（保護者アンケート）の集約結果では、本校の教育活動に対して概ね理解と評価をいただいているといえる。過去3年間の比較では総じて評価が若干高い。低い値だったのは、「お子さんは、基本的な生活習慣が身についている」「家庭での学習習慣が身についている」である。一方で、「行事の日程や内容は適切である」「児童の安全確保の面で十分取り組んでいる」「学校の様子を分かりやすく伝えている」は昨年度より評価が高く、新型コロナウイルス対策として取り組んだことが理解されたと思われる。

子ども達の学びの大前提とも言える「学校に行くのを楽しみにしている」「豊かな心が育っている」の項目は過去2年下降傾向であったが、今年度は上昇した。今後も保護者の願いに応えるために、子どもの実態をしっかりと捉えながら教育活動を推進していかなければならない。

(4) 教師の願い

本校の教師は、子ども達が瞳を輝かせながら主体的に生き生きと活動し、学校生活を送ることを願っている。また、令和3年度学校評価からは、重点目標の「すすんで取り組み 高め合う」について、「素直に取り組むが、自ら進んでとまではいかない」、「自分の気持ちを伝えきれない」、「自分の困ったことを自分で解決する力の弱さ」、「他人事として考える児童が目立つ」など、継続的な課題が見えてきた。挨拶と反応についてはコロナ禍であっても意識と質を高めることが今後も課題である。

学校経営方針策定アンケートから、重点的に取り組んでいきたい子どもの姿として、「自ら進んで学ぶ」「目標をもって主体的に取り組む」「最後まで立ち向かうたくましさ」を求める教職員が多く、特に、「課題や困難なことにも自ら向かう子」「自ら進んで学ぼうとする子」「自分の考えや思いを伝えられる子」「目標に向かって主体的に取り組める子」など、「主体性」「立ち向かう強い気持ち」を大切にしたいという教職員の思いが多かった。他人との関わりについても昨年度に引き続き指導の必要性が明確になった。子ども達が主体的に活動するためには、認め合い、協力し合える「支持的風土」を創り上げていくことが基盤となる。さらに課題の解決に向け、自ら学び自ら考える力、自己肯定感、予測不可能な時代を生き抜くための非認知能力の育成が極めて重要である。

以上の社会的要請及び保護者・教師の願い、そして、江別市が掲げる目指す子ども像「夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けて行動する子ども」の育成から、今年度も学校教育目標の具現化を図るために、重点目標を次の通り設定し、全教育活動を通してその達成を目指していく。

すすんで取り組み 高め合う 大麻の子

- 自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子
- 自ら目標を持ち、最後まで行動できる子
- 自ら進んで元気に活動できる子(挨拶・反応)
- 互いに認め、思いやりの心で自ら行動できる子

【育成を目指す資質・能力】

何を知って、何ができるかだけでなく、できることをどう使うか、どのように社会・世界と関わりよりよい人生をおくるか。

	○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子	○自らの目標を持ち、最後までやり切る子	○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）	○思いやりの心で自らで行動できる子
知識・技能	①自ら進んで基礎的な知識や技能を身に付ける	④自分の努力目標を明確にする。	⑦集団生活を送る上で規範意識の大切さを理解する	⑩相手の話・行動を理解する
思考力・判断力・表現力	②根拠を持って主体的に説明できる	⑤目標を達成するための具体策を考え・行動ができる	⑧集団や自分の生活を向上させるために、工夫して活や運動ができる	⑪多様な考え方を認め合い、自分たちで解決できる
学びに向かう力・人間性	③学びを振り返り、学んだことを次の課題や生活場面に生かす	⑥よりよく目標達成するために何をすべきか工夫する	⑨健康で安全な生活を目指し、主体的に活動や運動に挑戦する	⑫思いやりをもって他者と関わり合い、相手を尊重した行動をする

II 学校経営方針

- (1) 支持的風土の学年・学級づくりの推進
- (2) 学ぶ楽しさ、喜びと確かな学力の向上
- (3) 健康でたくましい心身づくりの推進
- (4) 「安全」「安心」の学校づくりの確立
- (5) 地域・保護者との連携と情報発信の充実
- (6) 教育のプロとして研修、共通指導の充実

III 具現化の視点

- (1) 支持的風土の学年・学級づくりの推進～『全ての教育活動を支える柱・土台』

- ① 望ましい人間関係の育成等、支持的風土の構築による学年・学級経営の充実 教務
 - ・よさを見つけ、認め、伸ばし、認め、励まし合う集団づくり、児童相互、教師と児童
- ② 規律と秩序ある学校生活を送るための規範意識の醸成 教務・児生
- ③ 主体的・実践的態度を育てる特別活動の充実 教務・児生・健安
 - ・達成感、満足感、自己有用感、自己肯定感
- ④ 知恵を出し合い自分たちで解決できる自主的・自治的な集団づくり 教務・児生
 - ・自主性、創意工夫が生き、自治性を高める学級経営
- ⑤ 子ども個々のニーズに応じた特別支援教育の充実 教務

- (2) 学ぶ楽しさ、喜びと確かな学力の向上

- ⑥ 基礎的・基本的内容の確実な定着を図る学力向上の推進 教務・研修
 - ・学習規律「大麻小スタンダード」の系統的な指導

- ・「大麻小デザインマップ」の確立と、学びに向かう姿勢の定着
- ・話し合い、学び合いのある授業の実践～言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びの視点による学習過程の改善
- ・聞き方、話し方、学習準備等、学習規律の徹底、家庭学習の定着
- ・補充学習や各種テスト・調査等の活用

⑦ **学力向上につなげる** **授業改善の推進** 教務・研修・管文

- ・学校改善プラン、指導過程（課題・見通し・振り返り）
- ・主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善
- ・発問や板書と連動したノート指導等
- ・デジタル教科書等ICTの効果的活用の促進
- ・コロナ禍での学習保障
- ・オンライン学習の促進

⑧ **新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた目標・内容を見直した** **授業展開の工夫**

教務・研修・学年

- ・生きて働く知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力の育成
- ・学びに向かう人間性の涵養

⑨ **少人数、習熟度別指導等、個に応じた指導法や協力教授等** **指導体制の工夫** 教務・研修

⑩ **学習意欲の向上を図る** **学習環境の充実** 教務・研修・管文

⑪ **読解力を高める** **読書活動の充実**（朝読書・家読） 教務・管文

⑫ **交換授業・合同授業の積極的推進** 教務・研修・学年

(3) **健康でたくましい心身づくりの推進**

⑬ **基本的な生活習慣の定着**（あいさつ、返事、言葉遣い、規則正しい生活） 教務・児生・健安

- ・規則正しい生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」「食育」
- ・自ら進んで挨拶
- ・思いやりある声かけ 挨拶+α

⑭ **特別の教科『道徳』の指導の充実** 教務・学年

- ・いじめ防止・思いやり・優しさ・素直さ・人権教育の充実

⑮ **基礎体力や運動能力を育む** **体力向上の推進**（授業の工夫） 教務・児生・健安

- ・体育授業、体育的な行事への取組、体力、運動能力の向上
- ・体力の向上と共に目標に向かって粘り強く最後まで立ち向かう体験の充実
- ・日常的に運動に取り組める環境整備の推進
- ・授業の工夫と外遊びの励行、休み時間の遊びや集団遊びの工夫など継続的な手立て

(4) **「安全」「安心」の学校づくりの確立**

⑯ **互いを認め、高め合う 人間関係づくり** 児生・学年

- ・基本的な生活習慣の徹底（挨拶、返事、言葉遣い）
- ・互いのよさを見出し、認め合う場づくり
- ・学級活動、児童会活動でリーダーを育成しフォロアーシップの在り方の指導
- ・異学年遊び、交流給食を通じた異学年の人間関係づくり
- ・早期発見、早期解決を目指す先手必勝の生徒指導
- ・いじめへの毅然とした対応と指導の推進及び道徳教育の充実
- ・情報モラル教育と家庭と連携した指導の徹底
- ・問題行動・不登校への組織的な対応と教育相談機能の充実
- ・全教職員の共通理解に基づく指導体制の確立
- ・生徒指導交流会の充実、予防的生徒指導の実践
- ・自主的な児童会・委員会活動の助長

⑰ **不登校児童への適切な対応**と支援体制の充実 教務・児生

- ・日頃の情報共有による不登校未然防止対策
- ・校内フリースクール的な居場所づくり
- ⑱ **いじめへの毅然とした対応**と指導の推進（いじめ防止基本方針）**教務・研修・学年**
「いじめはどんな理由があっても許さない」 日常的な指導
- ⑲ 問題行動の早期発見と早期指導等、全職員の共通理解に基づく**生徒指導の充実** **児生**
・危険を防止する態度の育成（交通事故、不審者等）、「約束」～ 規律と秩序ある生活
- ⑳ 日常における児童理解の推進と 相談体制の確立 **教務・児生**
- ㉑ 自らの命を守る意識を育てる 防災教育の推進（自然災害等）**教務・児生**
- ㉒ 機器活用力と意識を高める **情報教育の充実** **教務・管文**
- ㉓ **地域・関係機関との連携**による見守りの充実（見守り隊との連携）**教頭**
- ㉔ **新型コロナウイルス感染症 対策・安心な落ち着いた環境** **教務・健安・管文**
 - ・学びやすい場・空間の環境整備
 - ・コロナ感染対策の観点からの消毒・清掃活動
 - ・心を育てる学校と清掃活動 の充実
 - ・施設の保守管理を徹底と備品の有効活用
 - ・日常的な安全点検と校舎内外の環境整備

(5) 地域・保護者との連携と情報発信の充実

- ⑳ **保護者や地域との連携促進**による望ましい生活習慣の形成 **教務・児生・健安**
 - ・生活リズム、子育て、しつけ、家庭学習、情報モラル、食育等
- ㉖ 各種通信、HP、校内掲示による**情報提供・発信の充実**
教頭・教務・児生・健安・管文
 - ・学校便り、HP、さくらメール等を有効活用と、学校からの情報発信の充実
 - ・学校行事や地域行事等における学校と地域との相互連携と発信
 - ・学校便り、HP更新、一斉公開、運動会、学芸会
 - ・学校評価の充実と積極的な情報公開
 - ・地域・関係機関との連携による支援
- ㉗ **地域素材や人材の活用**を図った学習の工夫 **教務**
 - ・登下校の安全確保と情報発信・受信
- ㉘ **小中一貫教育**による効果的な教育活動の推進 **教務・児生・研修**
 - ・小・中学校で目指す子どもの姿の共有
 - ・目標の共有化
 - ・学習習慣・学習規律等の連続性の確立
 - ・系統的な授業づくり
 - ・児童・生徒同士の相互体験活動・合同授業・行事の同時開催・乗り入れ授業
- ㉙ **コミュニティ・スクールなど地域とともにある学校づくりの推進** **教頭・教務・学年**
 - ・教育活動の実明責任、学校運営委員会
 - ・「15歳の春の姿」を地域と共有

(6) 「授業づくり」に立ち向かう教育のプロとして研修、共通指導の充実

子どもに寄り添う「具体的手だて・時にはじっくり待つ・できたことをうんと褒める」

- ⑳ 全教職員の創意と協働で進める**学校運営の推進** **教頭・教務・研修・児生・健安・管文**
 - ・学校力、チーム力の強化～共通理解、共通指導、学年部会交流
- ㉑ 学習指導要領の実施に伴う**教育課程の評価・改善と研修の充実** **教務・研修**
 - ・外国語、キャリア教育、プログラミング教育、総合的な学習の時間等々
- ㉒ デジタル教科書等**ICTの効果的活用の促進・前進** **教務・研修・管文**

・タブレットを活用した効果的な授業展開

・コロナ禍での学習保障、オンライン学習の促進

③ **夢の実現を意識させるキャリア教育** 教務・研修・学年

・「夢の実現に向けて行動する」児童の育成

・自分を深く見つめ行うべき行動についてよく考える子どもの育成

・自己肯定感を高める「キャリアパスポート」の活用

④ 教職員相互の学び合い高め合う **研修活動の充実** 教務・研修・学年

・授業交流、授業公開、各研修会参加・還流、互いに鍛えるメンター研修等

・ピクトグラムを意識した日々の授業づくり

⑤ 教育者としての自覚と危機管理意識を高める **服務規律の徹底** 教頭・研修

⑥ **今日的教育課題**に対応した教育活動と研修の推進 教頭・教務・研修

・外国語・キャリア教育・プログラミング教育・情報教育・防災教育・ガン教育等

⑦ 北海道アクションプランの徹底と業務改善による **働き方改革の推進**

教頭・教務・研修・児生・健安・管文

・コアチームを核とした働き方改革の推進

・働き方改革を前進させる積極的なアイデアの共有・検討

⑧ **新しい生活様式の下での学習保障** 教頭・教務・研修・児生・健安・管文

・実り多い日々の学習内容・授業形態の工夫

・学びを止めない学習スタイルの研修

⑨ **令和の日本型学校教育の実現** 教頭・教務・研修・児生・健安・管文

・全ての子供達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現

・多様性と包摂性を高めた教育の機会均等の実現

・持続的で魅力ある学年・学級経営の実現

・「主体的・対話的・深い学び」の実現に向けた授業改善

※グランドデザイン 経営24参照

【大麻小デザインマップ】

学級経営（大きなルール作り）

- ① 初日に話す1年間のビジョンの共有。理想の学級の確認。
- ② 理想の学級を達成するための学級目標の制定。
- ③ 学級のルール（仲良くする、賢くなる、努力、やりきる、言葉遣い、気遣いなど）。
- ④ いじめは許さない態度を明確に示す。
- ⑤ 褒めるための学級組織づくり。
- ⑥ 一貫性のある対応。

I期	げんきに	はい
II~III期	すすんで	はい
IV期	さいごまで	はい

大麻小スタンダード

「学習 6つの約束」 **約束を確認しよう。**

- ① 休み時間のうちに学習の準備をする。
- ② チャイムが鳴る前に、静かに席に着く。
- ③ 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をする。
- ④ 正しい姿勢で学習する。
- ⑤ 正しい持ち方で鉛筆を持つ。
- ⑥ 話している人に体を向け、話を聞く。

どの学級も同じ指導で！

協働体制を基盤とした学年経営

■ 学年経営のポイント

- 指導方針や指導内容を統一する。
- 子どもの指導に必要な情報の交換をする。
- 学年の教師間の連絡・調整を円滑に行う。
- 同学年教師による研修体制を確立し、互いに啓発し合う。
- 学年の教師が相互に協力し合える体制を構築する。

学校生活の基盤として安心・安全で、心の居場所となる学級経営

■ 学級経営のポイント

落ち着いたある → ルールの確立 一貫性
きれいな学校 → 割れ窓理論

- 心の居場所となるために、**支持的風土に満ちた教室**をつくる。
 - ・ 子どもたち一人一人が活躍できる場を設定する。
 - ・ 子どもの良さを認め、励まし、みんなに広める場を設定する。
 - ・ グループ活動など、助け合いの場を設定する。
 - ・ 子どもの思いや願いを生かせる場を設定する。
- **子どもとの人間関係、信頼関係を構築**する。
 - ◇ 子どもが求める教師
 - ・ 公平 ・ 指導熱心（教え方が上手） ・ 明るい ・ 優しさと厳しさ ・ 親しみやすい
 - ・ ユーモアがある ・ はきはきしている ・ 一緒にあそぶ（一緒に活動する） など
- 開かれた学級経営に努める
 - ・ 同学年はもとより、他学年の教師や養護教諭など、**他の教師と連携・協力**して指導する。
 - ・ ケース会議など、校内にある組織を活用するなど、組織的な取組をする。
- 創意工夫した教室の学習環境の整備に努める。
 - ・ 子どもの発達段階を踏まえ、教師が行うべきもの、教師と子どもが協力して行うもの、子どもの自主的・自発的な活動として行うものに分類する。
 - ◇ 教師がつくる環境 ～ 学習内容に関する掲示物（計算、漢字の読みなど）、ICT環境、掲示作品への励ましのコメントなど
 - ◇ 子どもと共につくる環境 ～ 学級目標、学習課題、学級の取組など
 - ◇ 子ども自らがつくる環境 ～ 係・当番コーナー、生き物コーナー、情報コーナーなど
 - ・ 座席の配置など、子どもの人間関係など、大きな影響があるものには十分配慮する。
 - ◇ 身体的な側面に配慮した配置 ～ 身長、聴力、視力など
 - ◇ 学級の人間関係を踏まえた配置 ～ グループ構成など
 - ◇ 活動の内容や目的に応じた配置
 - ◇ 子どもとともに、座席の決め方を工夫する。（いつ、だれが、どんな方法で決定するのか）
 - ・ **教室の美化に努める**。
 - ◇ 清掃をしっかりと行う。（日常的にゴミを拾う態度を養う）
 - ◇ 整理・整頓がされている。（机の整頓。棚の道具やカバンの収納、衣類が収まっている）
- **家庭との良好な関係づくり、信頼関係づくり**に努める。
 - ・ 説明責任を果たせるように、担任の人柄や指導方針等について理解を得る。
 - ・ 担任の思いや考えを理解してもらうために、直接会う機会、話し合う機会をつくる。
 - ・ 学級通信等により、定期的に、学級の様子や担任の考え方を知らせる。
 - ・ 子どもの良い面も問題や課題も両方を伝える。（課題は確実に伝えておく）

学校評価について

1. 学校関係者評価の評価について

○ねらい：学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価結果について評価します。これにより、教職員と共通理解をもつとともに、学校の改善のために教職員と連携・協力します。

○今年度の「自己評価項目」については、11月16日の提案・確認を受けて決定します。

○学校運営委員の皆さんには、各項目の自己評価及び改善策の適切さについて、「大変良い」「よい」「やや劣る」「要改善」の4段階で評価していただくとともに、ご意見を挙げていただきます。

○「自己評価及び学校関係者評価書」（別紙【資料1】参照）

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針重点					
教育課程 学習指導					
生徒指導					

4つの大きな分野で構成されています。

分野に対応した評価項目が数項目あります。その項目に対する具体的な取り組みが「学校関係者評価資料」に記載されています。

達成状況、改善の方策は、教職員による学校評価会議(1/13)で検討し、その結果を受けて総合的な判断で記述します。

【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校運営委員の評価意見】

意見、要望等があれば、事前にご準備され、評価意見欄にメモしたり、ご記入したりしても構いません。

2. 今年度の学校評価計画と関係者評価委員会の流れ

令和4年度 学校評価スケジュール				
	経営プログラム	自己評価	児童・保護者評価	学校運営委員会・学校関係者評価
4月	7 ○Ⅰ期開始		○学校運営計画の案内 11・PTA総会資料配付 27・学校ハンドブックの配付	○学校運営委員の選定・委嘱
5月		9 ○第1回学校評価委員会 ・年間学校評価計画の提示 ・中間評価について		19 ○第1回学校運営委員会 ・学校経営計画の説明 ・評価の観点の提示
6月	4 ○Ⅰ期終了 7 ○Ⅱ期開始 15 ○Ⅰ期反省会議	13 ○第2回学校評価委員会 ・中間評価項目、評価方法等について 15 ○職員会議 ・2022年度学校評価の取組について ・中間評価の提案		4 ○学校行事参観
7月		↑ 中間評価 ↓		
8月		16 ○職員会議 ・中間評価会議		
9月				
10月	5 ○Ⅱ期反省会議 6 ○Ⅱ期終了 11 ○Ⅲ期開始	3 ○第3回学校評価委員会 ・年度末評価について 5 ○職員会議 ・年度末評価について		20 ○第2回学校運営委員会 (学校一斉公開日) ・感想拝聴 ・中間評価の提示
11月		8 ○第4回学校評価委員会 ・年度末評価項目、評価方法等について 16 ○年度末反省評価の提案	24 ○児童アンケート実施 25 ○保護者アンケート配信 ○教師アンケート配付	5 ○学校行事参観
12月	23 ○Ⅲ期終了	↑ 年度末評価 ↓		
1月	13 ○Ⅲ期反省会議 16 ○Ⅳ期開始	13 ○職員会議 ・年度末評価会議	→	13 ○学校運営委員へ学校評価結果の配付
		18 ○職員会議 ・新年度方針提示 ・評価者評価対応	←	16 ○第3回学校運営委員会 ・学校評価結果及び学校見解の検討、意見交流
2月		1 ○職員会議 ・新年度計画会議	28 ○児童・保護者アンケートの集約結果と見解のお知らせ(ハルニレ)	○自己評価及び学校関係者評価書の提出(委員会へ) 28 ○学校運営委員会の評価結果のお知らせ(HP)
3月	22 ○Ⅳ期反省会議 24 ○Ⅳ期終了	24 ○「大麻小の教育」の完成		

3. 学校関係者評価の手順について

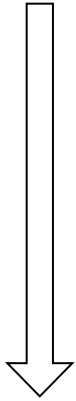
<評価の手順>

5月19日(木) 第1回学校運営委員会・・・学校経営方針、学校評価について



学校運営委員へ評価資料配付

10月20日(木) 第2回学校運営委員会(授業参観)・・・学校や児童の様子について



11月：児童アンケート、保護者アンケート実施、教師による評価実施

12月：アンケート、評価結果の検討

1月13日：学校評価会議…職員による学校の自己評価

14日：学校評価結果を送付

<評価項目による評価>

○評価する項目を学校運営委員の皆さんに評価していただきます。

1月14日(土)～15日(日) 各運営委員による評価作業

・項目について、「評価の適切さ」について評価する。(4段階で)

・評価判定の理由と、学校の取組についての意見を記述する。

【例：昨年度の評価】

○家庭学習の定着に関する保護者の評価が低いのは、家庭内での子どもの姿(取組み方、意欲)に対して、声掛けをするなどしている為ではないか。「もっと・・・。」という親の期待が作用しているためではないか。

○授業参観(秋)をして、すばらしい子どもたちの姿、高学年をあこがれとしている子どもたちの姿を実感した。

○地域でも挨拶ができていて、地域の方からも高い評価をいただいている。

○交通安全に係る要望を、地域としても上げていきたい。



1月16日(月) 第3回学校運営委員会

・各自、資料をもとに評価作業を行う。

・委員会全体で評価内容について交流・意見交換し、関係者評価の結果として決定する。

1月18日：職員会議…学校関係者評価を受けて、新年度学校経営方針提示

2月 1日：職員会議…新年度計画会議

下旬：保護者アンケート集約結果と見解のお知らせ

第 1 回 学校運営委員会 会議録

学校名	江別市立大麻小学校		委員長名	磯田 亨	
月 日	5月 19日 (木)	<small>(定員の) 委員数</small>	10名	<small>内、出席者数</small>	8名
時 間	17:55 ~ :		会 場	大麻小学校 会議室	
<small>傍聴人がある場合、以下に記入してください。いない場合は、空欄で結構です。</small>					
傍聴人	人	<small>内訳 保護者</small>	人	<small>地域住民</small>	人
<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日の議事書及び会議録を1部、提出してください。(規則第15条による) ・ この書式の行数等は適宜変更して構いません。 					
<p style="text-align: center;">右の2項目に該当する場合は○を記入してください。 給食試食 ()、授業参観 ()</p>					
<p>【出された主な意見、結果等を簡潔に記載してください。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校長からの、学校経営に関する基本的な方針は承認された。 ・ 先生方の評価(意見)をすべて提示してくださっている。大麻小学校の先生方の子どもたちに対する思いがすごく伝わってくる。 ・ 昨年度、授業を参観して、子どもたちが生き生きと学習、生活している姿を参観して、今後も継続して進めて欲しい。 					